



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1141 2018年10月9日

10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細はARIBニュース No.1137 2018年9月10日を参照ください）。

ARIBの動き

RTCM（米国海上無線技術委員会）総会 及び ビーコン製造者会議への参加

RTCM（米国海上無線技術委員会）総会 及び ビーコン製造者会議に参加しましたので、概要を報告します。

1. 日程：2018年9月25日（火）～28日（金）
2. 場所：PGA National Resort & Spa（アメリカ・パームビーチ ガーデンズ）
3. 出席者：約100名（日本からはARIB2名、全国船舶無線協会 水洋会部会1名が参加）
4. 会合の概要：

(1) RTCM 総会と海上無線技術、標準、政策に関する会合

RTCMは、米国の海上無線通信関係の標準化機関であり、406MHzの捜索救助用ビーコン（EPIRB、PLB、ELT等）の規格や海上通信に係る規格を作成しています。今回は、NMEA（米国海洋電子機器協会）総会との共催となりました。

RTCM 総会では、米国運輸安全委員会（NTBS）による海事事務調査委員会報告、自動操船と精密航法 及び航海の最新技術（ECDIS、AIS、VDES、レーダー、e-navigation等）についての発表がありました。

また、捜索救助用のビーコンに関する小委員会（SC110）に参加し、来月モンリオールで開催される第32回 COSPAS-SARSAT 合同委員会（JC-32）のための情報収集を行いました。

その他、衛星通信サービス、海事サイバーセキュリティ、サイバーワークショップ、FCC（連邦通信委員会）とUSCG（米国沿岸警備隊）の規則と免許に関するセミナー、GMDSS（海上における遭難及び安全に関する世界的な制度）タスクフォース会合が開催されました。

(2) ビーコン製造者会議（2018 SARSAT Beacon Manufacturers Workshop）

NOAA（米国海洋大気庁）が主催する捜索救助用ビーコンに関するワークショップであり、捜索救助用ビーコンの現状や今後の動向について情報交換する会合です。各国のビーコン製造者、USCG、FCC等の専門家が参加しました。

Cospas-Sarsat の進捗状況、第二世代ビーコンの規格更新／型式検定承認プロセス、ガリレオの打ち上げとリターンリンクサービス、EP-AIS ID の課題、ELT (DT) の更新／型式検定承認プロセス、ホーミング信号、ビーコン登録データベース等に関して発表がありました。



RTCM 総会



ビーコン製造者会議

第 22 回規格評議会を開催

10月4日（木）、当会第4会議室において、第22回規格評議会を開催しました。

安田委員長の開会宣言に続いて、松井専務理事から、この1年間に標準規格に関する異議申立てがなかったため、本規格評議会では標準規格等の策定・改定状況等や、標準規格・技術資料の提供状況など、ARIBの規格に係わる取り組みについての状況報告を行うとの挨拶がありました。

続いて事務局から、調査研究・研究開発及び標準化の体制、この1年間に開催された4回の規格会議（第105回～第108回）における標準規格等の策定・改定・廃止状況、および標準規格等の英語翻訳版の提供状況について報告がありました。

さらに、標準規格・技術資料を掲載しているARIB Webサイトへのアクセス状況や、ARIB会員や非会員（有償）による標準規格・技術資料のダウンロード状況について報告がありました。

安田委員長をはじめ委員の方々からは、いくつかの規格の策・改定の背景、海外企業の参加状況や規格情報の提供状況などについて、広範囲にわたってご意見やご質問をいただきました。

【注】

当会の定款では、標準規格に関して規格会議が行った手続きについて、規格会議の委員から異議申立てがあった場合において、会長が同異議申立てについての決定をするときは規格評議会に諮問することとされています。



第 22 回規格評議會の様子と安田委員長

今週の ARIB 内会合（10 月 9 日～10 月 12 日）

- 10 月 10 日（水） 第 254 回 業務委員会
- 10 月 10 日（水） 第 40 回 無線 LAN システム開発部会
- 10 月 11 日（木） 第 109 回 規格会議
- 10 月 12 日（金） 第 3 回 固定系無線将来展望調査研究会
- 10 月 12 日（金） 第 2 回 宅内光配信方式検討アドホック

今週の国際会合（10 月 9 日～10 月 12 日）

10 月 9 日（火）～ 16 日（火） ITU-R SG5 WP5D（第 31 回）（福岡）

5G 利活用アイデアコンテスト開催のお知らせ

総務省では、5G の特性を有効活用することで、地域社会発のアイデアで様々な社会課題の解決や地方創生に資するアイデアを募集するため、コンテストを実施します。

5G を多くの方に知ってもらい、5G を使った新しいビジネスや、地域や社会の課題解決につながるような、地方発のアイデアを幅広く募集します。5G の特徴をフルに活かした、地方から世界へ広がる、意欲ある提案をお待ちします。

1. 募集内容

- ・ 5G を利活用することにより、地域の課題の解決や産業の振興に役立つアイデアを募集します。
- ・ ビジネスモデル等ではなく、アイデアのみのコンテストです。
- ・ 優秀なアイデアは、2019 年度の 5G 総合実証試験に採用される可能性があります。

2. 応募要件： 自治体、大学、企業、個人など

3. 主催： 総務省

4. 募集期間： 2018 年 10 月 9 日（火）～11 月 30 日（金）

5. 応募アイデアの選考・選抜について

- 地方選抜（書類選考） 時期：2018 年 12 月上中旬頃
場所：地方総合通信局等（札幌、仙台、東京、長野、金沢、名古屋、大阪、広島、松山、熊本、沖縄）
- コンテスト（二次選抜） 時期：2019 年 1 月中旬頃
場所：東京

6. 応募方法、募集要項等

本コンテストのウェブサイト：<https://5g-contest.jp>

総務省報道資料：http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000349.html

7. 問合せ先

本記事に関する問合せ先は、次のとおりです。

ARIB 研究開発本部 移动通信グループ

上田陽市 (y-ueda@arib.or.jp)、山下朋人 (t-yamashita@arib.or.jp)

TEL：03-5510-8594



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp